

令和5年度（2023年度）採用分若手研究者海外挑戦プログラム

申請書提出に当たっての事務担当者用チェック要領

申請書の提出は電子申請システムでの提出（送信）のみとしています。

申請書を取りまとめ本会に提出（送信）いただくにあたり、例年、申請資格不備にて選考の対象外とせざるを得ない案件が発生しております。各機関におかれましては、今一度、精査していただくようお願いします。

申請書の提出（送信）方法等、特に注意していただきたい事柄を以下に掲げますので、提出前に確認してください。

申請者が「電子申請システム」内で一度「提出」の処理をした「申請書情報」の記載内容を訂正する場合、事務担当者は「電子申請システム」内で当該申請者の「申請書」の「却下」の処理をします。その後、申請者本人に「電子申請システム」上の情報を訂正させ、その後再度「提出」の処理をさせていただきます。

なお、一度取りまとめて本会に提出（送信）いただいた後は、追加することは認めかねますのでご注意ください。また、申請書提出後の申請書の修正・差し替えは本会では一切受理しませんので、募集の周知の際にその旨を申請者へ必ずご指導ください。

1. 申請書の提出方法

申請書は電子申請システムにより提出いただく必要があります。

- ・申請書の構成は下表のとおりです。全てが揃わなければ、申請することはできません。
- ・申請リストの確定を行うことにより、本会へ申請書が提出（送信）されます。

※郵送等による紙媒体の申請書の提出は不要です。

- ・本会への申請書の提出（送信）期限は次のとおりです。

第1回提出（送信）期限：2022年9月15日（木）17：00（日本時間）【厳守】

第2回提出（送信）期限：2023年4月14日（金）17：00（日本時間）【厳守】

<表：申請書の構成及び作成方法>

	内容	作成方法	作成者
申請書情報	氏名・研究課題名・派遣先等の基礎的な必要情報	電子申請システムにおいてWeb入力	申請者
申請内容ファイル	研究の位置づけ・研究目的・内容等・外国で研究することの意義等	本プログラムウェブサイトから取得したWord等で作成後、電子申請システムへ登録	申請者
評価書	申請者の研究内容に精通している研究者1名による評価	電子申請システムにおいてWeb入力 ※ID・パスワードは、申請者が作成依頼処理をすることで、電子申請システムより作成者へEmailにより通知	評価書作成者

2. 申請書のチェック項目

1) 申請資格等を満たしていることの確認

- ① 採用年度の4月1日現在、我が国の大学院博士後期課程に在籍する者（申請時は見込みでも可）
- ② 申請時かつ採用時において日本国籍を持つ者、又は日本に永住を許可されている外国人
- ③ 連続して3か月以上、研究のために海外に滞在した経験がない者

(申請時において既に研究のために海外に滞在中で、連続して3か月以上海外に滞在する予定の者も申請できません。)

※ 外国人の申請について

日本に永住を許可された外国人は申請可能です。在留資格が「留学」、「日本人の配偶者」等の場合は、申請できません。申請に当たっては永住を許可されていることの証明書類の添付は不要ですが、採用内定後の派遣開始手続時に本会への提出が必要となるため、申請書を本会に提出する前に在留資格を確認してください。

※ 令和5年度(2023年度)採用分(第1回)補欠者について

補欠の状態を保持したまま改めて第2回募集に申請することは差し支えありません。

※ 令和3年度(2021年度)採用者について(募集要項2ページ参照)

通常時においては、本プログラムの採用歴がある者の再申請は認めておりません。しかし令和5年度採用分募集においては、新型コロナウイルス感染症の影響による特例措置(令和3年11月4日付学振育第23号による)を受けた採用者のうち、次の(1)又は(2)のいずれかに該当する者の申請を特例的に受け付けます。

- (1) 令和3年度採用者向け特例措置により、令和4年度中に採用を開始する旨を令和3年度中に本会に届け出た者のうち、令和5年度採用分募集への申請を希望する者
- (2) 令和3年度採用者向け特例措置により、緊急一時帰国後、再渡航を取りやめた結果、渡航先への滞在日数が90日を下回る派遣期間を以て終了する者

本取扱いにより申請をする者は、電子申請システムの申請者情報のうち「研究・職歴等」の欄において、若手研究者海外挑戦プログラム令和3年度採用者であることを必ず明記することとします。記載事項の真贋は本会にて確認しますので、当該事項の記載があることのみを以て申請を取り下げさせないようご配慮ください。

2) 「⑧大学院博士課程」と「⑨学歴」の記載内容について

「⑧大学院博士課程」欄の入学年月等の記載内容と、「⑨学歴」欄に記載された学部及び修士の学歴との間に、矛盾がないかを確認してください。

3) 「⑬大学院博士後期課程における研究指導者」について

所属機関名、部局名、職名が正確に記入されているかを確認してください。

4) 「⑭海外における受入研究者」について

所属機関名、部局名、職名が正確に記入されているかを確認してください。

【申請書情報のチェック箇所】

申請書情報(電子申請システム上で入力)部分の必須項目、桁数チェック等の基本的なチェックは電子申請システム上で行っていきます。上述の注意事項に留意した上で、申請書情報のチェックは以下の項目について行ってください(該当箇所は、次ページの図を参照)。

A: 申請者氏名

登録名が表示されているか確認してください。(「電子申請システムによる申請手続の概要(申請機関担当者用)」P. 11参照)戸籍名は機関担当者が登録しますが、登録名及びローマ字表記は申請者が電子申請システムで入力します。

B: 「大学院博士後期課程における研究指導者」等の研究者情報

貴機関に所属の研究者が記入されている場合、氏名や所属部局、職名等が正しく記入されているか確認してください。

【申請書】～各ページ～ (申請書情報) 注: (電子申請システム) 未分格記述してはならない。

令和5年度採用分 若手研究者海外挑戦プログラム 申請書 No.

(申請書情報) 要 歴

受付番号	① 書面合審査区分		
審査区分	② 書面審査区分		
	③ 小区分名		
	④ 小区分コード	⑤ 専門分野	

⑥ 研究課題名 (和文) _____
(英文) _____

1. 申請書情報 (所属機関コード) _____

⑦ 氏 名	姓 名	(フリガナ) (漢字等)	(名) (名)
⑧ 大学院 博士課程 (在籍または 在籍予定)	入学年月 大学名	入 学 年 月 (西暦) 年 月 日 入・進学/入・進学予定	
⑨ 学部 (学部、修士、 博士)	研究科名	課程種別	
⑩ 研究・職歴等			

⑪ 派遣を希望する期間 (西暦) 年 月 日 ~ (西暦) 年 月 日 (日間)

⑫ 派遣 国

⑬ 大学院博士 後期課程 における 研究指導者	氏 名	(フリガナ) (漢字またはローマ字)	(姓) (姓)	(名) (名)
	科 研 究 研 究 者 番 号			
	所 属 機 関 名			
	部 局 名			
職 名				

- 1 -

海外における 受入研究者	氏 名	(FAMILY NAME) (英文) 姓	(First Name) (英文) (First Name) 名	(Middle Name) (英文) (Middle Name) 姓	
	職				
	受入機関名	(英語) 大学 / 研究機関 / 研究センター / 民間研究機関 (和文) _____			
	受入部長名	(和文) _____ (英文) _____ (和文) _____			
査読審査作成者	氏 名	(フリガナ) (漢字またはローマ字)	(姓) (姓)	(名) (名)	
海外での 研究遂行能力 について (留学能力の 確認)	所属機関名				
	部 局 名				
職 名					
海外における 研究・留学歴 (1か国以上海外 で研究に専 事した経験が ある場合に記入 してください。 留学経験など 研究以外の 海外滞在は含 みません。該当 がない場合は 「該当なし」と 記入してください。)	期間: (西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日				
期間: (西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日					

- 2 -

【申請内容ファイルについて】
PDF 変換後、文字化けや図表について申請者が確認するようご指導ください。事務担当者の方における確認は不要です。